

## 新高通信



第50号

秋田県立新屋高等学校

## 生活の基本を大切に 目標達成を目指そう

校長 佐々木律成

年度当初の明るく元気な挨拶が、時間が立てばおろそかになってはいないか。口も凍える冬は、教員が声をかけても、きちんと挨拶を返せない生徒がいる。

有名な予備校講師の林修先生は『いつやるか？今でしょ！今すぐできる45の自分改造術！』の中で受験技術には一切触れず、「挨拶は誰に対しても同じように！」と強調する。研究業績も人間性も尊敬できた大学時代の恩師は、時や場が変わっても、常に誰に対しても謙虚に挨拶し、信頼された先生だったという。このような人のもとには優れた人材が集まり、相互に影響を及ぼし合い、ともに高められていく。

進路や部活動の目標達成は独力では難しい。信頼に値する生活ができれば、力になってくれる人に出会う可能性が広がる。信頼の第一歩は挨拶だ。難関を突破した3年生は、挨拶もしっかりしていた。



## 卒業証書授与式

第30回卒業証書授与式が、3月1日(火)午前10時30分から第一体育館において挙行されました。卒業生198名が呼名され、佐々木律成校長から代表の辻侑平さんに卒業証書が授与されました。

校長式辞では、18歳選挙権に触れ「秋田のことを考えながら、さらに視野を広げ、国内や世界の問題に目を向けることが大事です」との激励がありました。その後、PTA会長の安田喜代治さんから御祝辞をいただきました。続いて在校生代表の河村美智瑠さんが「私たち在校生は、豊岩の地で先輩方の心の支えになれるようにがんばります」と送辞を述べると、卒業生代表の川村拓弘さんが、「校訓である『自尊・自知・自制』を胸に、社会人としての自覚を持って、自分の目指す人生をしっかりと歩んでいきたいと思っております」と答辞を述べました。



式の後、各クラスで最後のHRが行われ、一人ひとりに担任から卒業証書が手渡され、198名の卒業生が新屋高校を巣立ちました。

## 離任される先生方

これまで、ご指導ありがとうございました。

猪股 清子	教頭	(仁賀保高校校長へ)
藤田 隆史	先生	(仁賀保高校へ)
小田嶋 博	先生	(秋田高校へ)
高橋 智美	先生	(秋田南高校へ)
猿田 美樹	先生	(金足農業高校へ)
高田 香織	先生	(男鹿工業高校へ)
岸 直子	先生	(秋田北高校へ)
佐藤江利子	先生	(明德館高校へ)
下総 光	主事	(秋田港湾事務所へ)
佐藤 博子	先生	
金田 直子	先生	(雄勝高校へ)
銀谷 萌	先生	(秋田北・中央高校へ)
桐越 恵美	さん	(中央高校へ)
滝沢 幸恵	先生	

## 後期校内研修報告

研修部主任 佐藤茂樹

10月21日(水)にアクティブラーニングの先進校である花咲徳栄高校視察の報告会を行い、これからの教育界における授業改善の方向性を確認しました。

また、本校を会場にして、10月27日(火)5年研授業研修会(地歴・家庭)、10月29日(木)高教研地歴公民部会研究大会、11月20日(金)高教研美術授業研究会が行われ、県内の先生方による熱心な研究が行われました。2月18日(木)には、10年経験者研修報告が行われ、本校では、3人の先生方による充実した研修の報告がされました。この他にも、11月中旬には後期の互見授業など、折に触れ職員の資質向上を目指し研修を実施しました。

なお、これら1年間の研修については、「研修集録」にまとめ、発行しました。

# 進路決定状況

進路指導主事 石井啓之

卒業生に対する大学・短大への進学予定者は109名(55.1%)で、昨年同時期の101名(51.0%)よりも8名(4.1%ポイント)増加しました。4年制大学は79名と昨年72名から増加しました。このうち、国公立大学は19名、私立大学は60名となっています。

国公立大学合格者は20名で、うちAO・推薦Iなどセンター試験を利用しない入試で11名でした。センター試験を利用した合格者は、推薦2名、前期日程3名、中期日程1名、後期日程3名の計9名となりました。就職内定者は32名で、うち県内27名、県外5名でした。

進路志望状況と決定状況 [ ]内は未決定者数

3月22日 現在

進路状況	合計	国公立大	私大	短大	専門校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生 2月志望	175	71	20	8	41	19	2	11	3	0
2年生 2月志望	198	71	27	20	36	16	15	6	4	0
3年生 2月志望	198	39	54	26	47	0	27	5	0	0
3年生 決定状況 (昨年同期)	198 (198)	19 (16)	60 (56)	30 (29)	48 (57)	[9] ([10])	27 (26)	5 (4)	0 (0)	0 (0)

## 先輩講話

3月15日(火)、大学へ進学した先輩2人と今年度大学に合格した卒業生2人を招いて、進路に関する貴重な体験談をお聞きました。2年生の佐藤優大さんと秋元太陽さんが司会進行し、先輩たちに、前もって出されていた質問に答えてもらいました。在学中の勉強方法や時間の使い方のアドバイスや大学での生活などを聞きました。1・2年生はメモをとるなど、真剣に話を聞いていました。



## 一般選抜結果報告

平成28年度一般選抜合格発表が、3月16日(水)午後4時、本校生徒昇降口前で行われました。募集人員135に対し、志願者数が183、志願倍率は1.36倍と高倍率でした。天気は晴れ、気温は9.2℃。春の陽気がほんの少し感じられる中、本校を受検した中学3年生や保護者など多くの方が発表を見に来校されました。

合格者の受検番号が記された掲示板の白布がめくられると、ひときわ高い歓声が上がりました。友人や家族と抱き合う人や記念撮影をする人など、会場は喜びの声につつまれていました。

これで、前期選抜合格者の40名を加え、平成28年度入学生175名が全員決まりました。4月6日(水)の入学式において希望に燃える新1年生の皆さんにお会いすることを楽しみにしています。



## 保健室から 養護教諭 金田直子

1年間の保健室来室状況をお知らせします。来室者数は、1007人でした。けがなど外科的理由が250人、頭痛・腹痛など内科的理由が757人でした。出席停止者数は16人で、その内訳はインフルエンザ8人、感染性胃腸炎4人、溶連菌感染症2人、流行性耳下腺炎1人、水痘1人でした。昨年同様、内科的理由で来室する生徒が多くみられました。スマートフォンや携帯電話などの過度・不適切な使用により寝不足など心身の調子を崩す場合もあります。規則正しい生活習慣に関してもまだまだ保護者の皆様の御協力が欠かせません。

来年度からの健康診断では、学校保健安全法施行規則一部改正により、「座高」「寄生虫卵の有無」が必須項目から除外され、「四肢の状態」が必須項目として加わります。3月初旬に保護者の皆様に「脊柱・運動器保健調査票」の記入をお願いしたところではありますが、今後とも御協力を宜しくお願い致します。

## ☆☆ 各部の成績 ☆☆

### 【書道】

秋田県新春書初め席書大会

佳作 中路彩夏

### 【写真】

よみうり高校生写真コンテスト2016

佳作 松野鈴花

### 【吹奏楽】

全日本アンサンブルコンテスト第43回東北大会

打楽器四重奏 銅賞

## 在学奨学金の紹介

### 〈秋田県育英会〉

保護者が秋田県内に居住している生徒

### 〈秋田県信用組合給付型奨学金〉

母子家庭・父子家庭の生徒

### 〈あしなが育英会〉

病氣・災害・自死などで親を亡くしたり、親が後遺障害(1~3級)で働けない家庭の生徒

### 〈交通遺児育英会〉

保護者が道路における交通事故で死亡したり著しい後遺障害で働けないため、教育費に困っている家庭の子女

### 〈アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金〉

18歳未満で小児がんを発症した小児がん経験者および、「がん」により主たる生計維持者を失った遺児

### 〈J. POSH奨学金〉

本人の母親・保護者を乳がんや子宮がんなどで亡くしているまたは、本人の母親・保護者が現在乳がんや子宮がんなどで闘病中の生徒

### 〈朝鮮奨学会〉

日本の各高等学校に在学している韓国・朝鮮の国籍を持ち、他の同胞奨学機関から奨学金を受けていない満25歳未満の者

※上記を希望する方は、奨学金担当まで連絡ください。締切が迫っている奨学金もありますので、余裕を持って申し込みをお願いします。新規採用に関しては、締切後の申し込みは出来ません。ただし、家庭状況の変化や家計の急変・被災等があれば、緊急枠で申し込み出来る場合がありますので、ご相談ください。







